



2014-15年度R.I.テーマ
ロータリーに輝きを



齋藤 博重会長

第2589回 例会 会長あいさつ

2015. 4. 23

週報 No.2035
発行 2015年 4月30日
会長 齋藤 博重
幹事 久保田 勲
副会長 齋藤 哲雄
副幹事 藤村 作
編集責任者 藤村 作
クラブ広報委員長 長沼 大策

本日も例会に出席を頂き誠に有難うございます。
上尾西ロータリークラブの日吉会長より今年度中に一度合同例会をやりましょうというお話を頂いておりました。そこで、北陸新幹線の開通もあり、プロが選ぶ日本のホテル旅館100選で1位に選ばれております石川県和倉温泉の株式会社加賀屋代表取締役社長小田氏をお迎えしまして例会を企画することになりました。5月の最終例会は、夜間例会の予定でありましたが、講師のご予定もあり通常の昼間の例会となります。皆さん日時のご確認をお願い致します。

- 5月7日 定款の規定により
休会
- 5月14日 会員卓話
齋藤重美会員
- 5月21日 クラブフォーラム④
『2015-2016年度
計画発表』
- 5月28日 合同例会(上尾西RC)
卓話:小田與之彦氏
(加賀屋代表取締役)
(時間と会場変更
閉会点鐘14:00フロー)

さて、文化庁で行っております「国語に関する世論調査」があることをご存知でしょうか。私は当然知らなかったのですが、「読む力」「書く力」「話す力」「聞く力」をそれぞれ試されるようになって、平成7年度から調査をしているようであります。
今日はその中で日本語の誤用ランキングについて話をします。誤用とは、誤って用いる日本語つまり、「間違った意味で使われる言葉」と「言い間違いされる言葉」です。まずは、「間違った意味で使われる言葉」第1位は「ハッカー」です。ハッカーとは、コンピューターに侵入し、不正行為を行う人と思われがちですが、実は、コンピューターやインターネットに詳しい人のことだそうです。そして、第2位「確信犯」ですが、悪いことであると分かっていながらする犯罪と思いがちですが、実は、信念に基づいて正しいことだと思いついてする犯罪のことだそうです。そして、第3位が「他力本願」です。自分で努力するのではなく、他人からの助けに期待することと思いがちですが、自らの修行などによって悟りを得るのではなく、仏の力によって救済されることを言うそうです。
そして、次に「言い間違いされる言葉」ですが、第1位は途切れがちな会話などを上手くつなぐことが出来ないことを「間が持たない」と言いそうですが、実は、「間が持たない」が正解だそうです。第2位は、激しい語気の声を出すことを「声をあらげる」と言いたいですが正解は「声をあらげる」だそうです。そして、第3位が、相手のすきをついて失敗させることを「足もとをすくう」と言いますが、実は「足をすくう」が正解だそうです。皆さんは、如何でしょうか。私は、ほとんど間違えて理解しておりました。今ご紹介しました言葉で

は、6割から8割の人が間違った認識をしているというデータが出ているそうでもあります。というように私達が何気なく使っている言葉にも多くの間違いがあるということです。

一方で、「言い間違いされる言葉」の1位になっておりました「間が持たない」であります。例えば、友達との話の中で、〇〇さんは、雲の上の存在だから会話していても「間が持たなかったよ」と言われても、なかなか「間が持たなかったよ」でしょうと指摘をすることも少ないのでは、ないでしょうか。年々、正しく使われない方が、増えていることが事実のようです。身近な人との会話からもう一度見直す必要があるようでもあります。気にし過ぎてはいけませんが、少しは気にして行きたいものです。

以上をもちまして、会長挨拶と致します。本日も宜しくお願ひ致します。有難う御座いました。

委員長報告

親睦活動委員会 樋口 雅之委員長

本年度の最終例会を企画しております。日程は6月25日(木)、18:30から、会場は東武バケットホールさんです。早めに告知させていただいておりますので、ぜひご家族お誘いあわせの上、ご参加くださいますようお願いいたします。



またその準備ということで親睦活動委員会をゴールデンウィーク明け5月10日に開催したいと思います。委員会メンバーの皆さんはご協力のほどお願い申し上げます。

例会主題～会員卓話

『自分史』

富永 建会員

自分史ということでお時間をいただきありがとうございます。自分史を述べる前に昔のロータリーのことを話してみただけいかと意見もありましたので、何人か先輩がいっしょにいますが、私がロータリーに関わった中のちょっとした出来事もまじえて話してみたいと思います。



私がロータリーに入会したのは昭和59年7月26日です。同期の入会では、小林先生が私より2週間ほど早く、また齋藤重美先生が1～2カ月後だったのではないかと思います。以来、31年になりますが誰も退会することもなく3人のメンバーはがんばっており、私は死ぬまでI LOVE ROTARYですから続けたいなと思っております。お二方もそうなのではないかなと思っております。

当時の会長は故石川留蔵さんでした。推薦人は加藤雄啓さんだったと思います。上尾RCは今年で52年経つわけですが、52名の会長の中で、現役メンバーなど若い方をの除くとご存命の方は、第11代会長の大島正弘さん(大島病院)、第15代会長の竹内誠さん、第18代会長の細野隆司さん、第21代会長の飯田茂さんの4名ということで、時が経っているんだなと感じています。私は上尾RCでは年齢的に6番目、キャリアでも6番目、非

幹事報告

久保田 勲幹事

次年度案件が多い中、幹事報告をさせていただきます。

先日行われました委員長予定者会議の方で大塚パスタガバナーから、国際ロータリー第2770地区 2017-18年度ガバナー決定の件で、第5グループ、上尾西RCの大貫 等さんが選出されたこと案内がきております。



常に居心地のよいポジションにいるのかなということでもロータリーを楽しんでいるところで。

私の職業分類は32～3年続くテニスクラブです。倉庫業もやっていますがロータリーは1業種1人ということで、星野博三さんが倉庫業でエントリーしてましたので私はテニスクラブで入らせていただきました。職業分類というのの娯楽業です。

私の父は草加ロータリークラブに10年くらい入っていたかと思えます。兄も草加RCでロータリアンでした。職業分類は不動産管理業だと思えます。

私は20年前、吉川さんが会長の時に幹事を務めさせていただきました。吉川さんは中央病院で手術をして入院していたのですが、例会の日が手術から2～3日後だったので例会に出てきて、幹事の役をこなして、それからまた入院したというエピソードがあります。それぐらい会長幹事という役目は重いんだよと言いたいわけです。

20年前は阪神淡路大震災があった時で、あの時にネパール・バングラディッシュの方に吉川会長が行く時に、幹事も行かせていただきました。阪神淡路大震災の朝、朝いちばんの列車で羽田に行き、タイのバンコクで降りたのですが、テレビでものすごい状況が映し出されていたのを覚えています。

ロータリーの委員会の中では高齢者対策委員会というのが1年だけあり、小林先生が委員長、私が副委員長で、大宮駅から長野の善光寺まで高齢者の方を連れていったことを覚えています。

私は草加の生まれで、上尾に来たのが30歳の時です。サラリーマンを8年間ほど、32歳までやっていました。はじめは重機の会社に少し勤めましたが学生の頃との環境の変化が激しかったので、体をこわしてあまり長くはいられません。その後、大日本印刷の営業をさせていただきました。その時は食品包材へフレキシブルパッケージを作っている部署で、約8年務めさせていただきました。サラリーマン時代は苦労をしたのは、昭和48年のオイルショックでフィルムなど包材物産が不足した時です。営業マンは4～5年の得意先を持つのが不足だったので、海外からパッケージを取り寄せ、その時の輸送代(飛行機代)を払わされたという経験があります。これが今でもはっきり覚えているサラリーマン時代の思い出です。

32歳の時、大日本印刷を辞め、上尾に戻り、父の仕事

を手伝いながら何年か前まで仕事をしていました。今は朝起きて大リーグを見て、食事をして、のんびりとした生活を楽しんでいます。大リーグがない時は、晴耕雨読ではありませんが、3馬力の耕運機を買って家の裏の畑で野菜を作って楽しんでいます。サツマイモ、トマト、キュウリ、ナスなどを育てて一日一日を過ごしています。野菜作りが嬉しくて去年一昨年は早めに苗を買ってきて植えていたのですが、細野さんのお父さんに「それは早すぎる。4月末になって地熱が温かくなってからの方が育てやすいよ」とアドバイスをいただき、今年は一昨日苗を植えました。

話がとびますが、11～12歳の頃、野球ではラジオを聴きながらスコアブックをつけるほど熱心なジャイアンツファンの野球少年でした。しかし江川事件があった時にお金でなんでも解決してしまう体質が嫌だなと思いアンチジャイアンツになりました。

中学に入ってからテニスをやっていて、北本宿村中学校で北足立郡のテニス大会があり、大宮以北には来たことがなかったのですが30歳になって上尾に来るまででは、そのとき一度だけあります。

私は父のことはあまり好きではありませんでした。男4人兄弟ですが、父からは「旧帝国大学以外は大学ではない」と言われたこと、小学生の時に「こんな問題がわからないのなら豆腐の角に頭をぶつけて死んでしまえ」と言われたことがあるからです。そういう父ですが農林省に入って、昭和30年の朝7時のNHKラジオニュースをたまたま聴いていたのですが、農林省の技官が「肥料は毒だ」と発表をし、それから1～2カ月後に父はお門違いの経済審議庁、食糧庁に行つてまた農林省に戻った経緯があります。今でこそ「化学肥料は体に良くない」ということは理解されるところで、有吉佐和子の『複合汚染』という小説があったかと思いますが、昭和30年ですから同期の方などはそこそこのポストでお辞めになったりしたのだと思います。私は霞ヶ関までコロナという車で父の資料を取りに行つたことあります。父は一本気である意味、芯を曲げない人でした。

父は草加で地主だったわけですが、農地改革で他人に渡した田圃を1反借りて、無農薬で米を作り、私も中学1・2年の頃に手伝いました。あの頃、1反で8俵くらいが普通でしたが、肥料をやらないからそれほど収穫できませんでした。

母のことは、尊敬してまして、そういう父に添うわけですから苦労をしたと思います。じゃがいもに塩をつけ、麦飯の握り飯に味噌をつけて食べたりしたことがあります。

す。母方の実家は、北上尾PAPAのところで、父方の祖母は伊奈から出ています。男4人兄弟でしたので、上尾に私が来た縁が若干あったのかなと思います。実は私は昨年、戒名をすでに授けてもらい、母の名を1文字入れています。また中庸という言葉も戒名に入れさせていただきました。

上尾商工会議所の会頭室に「中庸」という書があると思えます。私が会頭をしていた頃に、書道家が書いてくれ額に入れて飾ってあります。

これからの時代、少子高齢化になると養子が増えると思えます。遍照院の檀家数も減りました。お寺のものも経営も大変になってくるのではないかなと思います。

大学時代は昭和40年に大学紛争があった中で、学校の中に入れて41年に卒業したわけですが卒業試験もできませんでした。これはラッキーでした。私は大学2年まで真面目だったのですが、2年から麻雀をやるようになり、授業料がなくなり池袋でアルバイトをしていたこともあります。

先程の話になりますが、上尾に来たのはワンポイントリーフだと思っていて、次の代につなげるためには「子孫に美田を残すな」とよく言いますが、今の税制では少し減るので、少し減らして現状維持で次の世代に渡していけるのかなと思っております。

草加で30年、上尾に来て42年。これから死ぬまで上尾で過ごさせていただくわけですが、いつも言っているように「I LOVE 上尾ロータリークラブ」ですので、ぜひ今後ともおつきあいのほどお願い申し上げます。



富永会員、卓話ありがとうございました！

スマイル

- 富永会員 つたない話、御静聴ありがとうございました。
- 齋藤重美会員 上尾RC「有言実行会員」富永会員 卓話感謝。
- 村岡会員 結婚祝いの花束、ありがとうございました。丁度50周年を迎えました。

- 齋藤博重会長 / 久保田幹事 / 藤村副幹事 / 武重会員 / 大塚信郎会員 / 小林会員 / 井上会員 / 尾花会員 / 大木会員 / 細野会員 / 名取会員 / 大塚崇行会員 / 深澤会員 / 関口会員 / 樋口会員 / 宇多村会員 / 長沼会員 / 齋藤修弘会員 / 北村会員 / 坂本会員

出席率			
出席 会員数	37	出席数	25
欠席 欠席数	12	(%)	67.57
前々回確定修正(%)	91.89	欠席数 (M・U)	3 / 4

